

第3 学年英語科学習指導案

学 校 名 益田市立高津中学校
指導者氏名
(司書教諭)
学校司書

1 日 時 平成30年1月25日 木曜日 第5校時 (3・1 教室)

2 単元名 NEW HORIZON English Course3 Presentation3 中学校生活 (全8時間)

3 単元の目標

- ・読み手に伝わるよう工夫しながら旅行記事を書こうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・既習の文法や表現を正しく用いて、行ってみたい国の見どころやそこでの体験や今後の予定について5文以上の旅行記事を、作文できる。(表現の能力)
- ・友達の記事を読んで理解することができる。(理解の能力)

4 単元の評価規準

コミュニケーションに対する 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語文化についての 知識・理解
自分の行ってみたい国での旅行記事を読み手に伝わりやすいように工夫しながら書いたり、友達の旅行記事を読んで積極的にコメントしたりしている。	既習の文法や表現を用い、自分の行ってみたい国での旅行記事やこれからの予定について5文以上で書くことができる。(W)	友達の旅行記事を読んで、その内容を理解することができる。(R)	既習の文法や表現を正確に用いることができる。

5 図書館資料活用による学習活動

英語科の学習では、英語を話したり書いたり聞いたり読んだりすることを通して、英語を学ぶことの意義や面白さを感じることが重要である。そのため、学習内容と生徒自身の日常生活との結びつきや、世界とのつながりを感じさせたい。そこで、今回の学習にあたっては、生徒が世界とのつながりを感じる手段として図書館資料を用いた調べ学習を設定した。図書館資料を学びの道具にすることで、直接足を運んで経験することができない国のことも、正確で多様な情報を得ることができると考えている。しかし、使い方によっては情報量が多く、煩雑になる可能性もあるので、司書教諭のサポートのもと、有効に情報が活用できるように支援をしていきたい。

6 学習の基盤

これまで、既習文法を用いて、1年時には自分の1日の生活を紹介する文を、2年時には日記を、3年時には国紹介文や修学旅行についての文を作文してきた。本単元では、中学校生活について今まで学んだことを生かし、これまで取り組んできたことやこれからしたいことについて5文以上で発表することを目標としている。この単元を活用し、小学校5年生から外国語活動や英語を学んだことの集大成として、自分で選択した国について5文以上で旅行記を作文し、発表する活動を行う。

中学校3年間で学習した文法事項を用い、将来行ってみたい国での旅行の様子や予定について作文したり、友達の作文を読み感想を述べたりすること、自分が伝えたいことを表現するために、これまでに学習してきた様々な文法事項の中から最も有用なものを選択し、用いることを通して、各文法や英語の表現の幅を感じさせることができる。作文の形式としてブログの形式での英作文を取り入れる。インターネットが世界とつながっていることは生徒も知っているため、ブログといったSNSの形式を取り入れ、イメージさせることにより世界とのつながりを意識することができる。また、実際に行ったことがない国に行ったつもりになって作文することは、想像力が必要とされるが、行きたい場所について書くだけよりも今まで学んだ表現が生かされると考える。しかし、日本語の資料から抜き出した情報を元に英作文するため、日本語のままの表現では英語にしにくかったり既習事項の範囲を超えていたりすることもあるはずである。このような場合、自分の知っている表現でどう作文できるか考えることを通して、辞書に頼らない実践的な自由英作文の力を育むことができると考える。

本時は、調べる国を決定し、紹介したい情報を収集する時間として、まずは図書資料から自分の興味のある国を決定する。前時まで、生徒一人ひとりが興味のある国の候補をいくつか絞っている。実際に図書資料を見ながら興味のある国の見どころや気候などについて情報を得ながら、生徒自身が旅行記事を書く国を1つに絞る。生徒自身に題材(国)を決定させることにより、本単元へ興味を持たせ、前述した学習意欲の低さを改善していきたい。行ってみたい国の決定後、図書資料から観点別に情報を集め、旅行プランを想像する。図書資料を使った情報収集の際には、地名・見どころ(アピールポイント)・気候などの観点別に情報を収集させることにより、使用文法が偏ることを防ぎ、既習文法の表現の幅を感じさせたい。ここでは、情報カードではなく観点別の記入欄がある1枚のワークシートを用いることにより、作文する際に取り入れたい情報が一目でわかるようにする。また、日本語の図書資料から文章で情報を取り出してしまうと、英文にするときどのように表現すれば良いか戸惑うことが予想されるため、キーワードで抜き出すことを意識させたい。また、記事の内容として、これまでの旅行の様子とこれからの予定について書かせることにより、過去・未来・現在、すべての時制を使いやすいよう促し、相手を意識した作文となるよう各国の見どころや気候などの、読み手の興味を惹きやすい情報を取り込むことを意識させたい。

7 指導と評価の計画 (全8時間)

次	目標	時	主な学習活動	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)	
1	・中学校生活についてのモデル文を読んで内容を理解しながら音読することができる。	1	・モデル文のリーディングポイント(要点)を確認する。 ・文章の内容を理解しながら、音読する。				○	・モデル文のリーディングポイントを理解している。(ワークシート) ・文の意味を理解し、文の切れ目や発音、アクセントに注意しながら音読することができる。 (観察・音読テスト)	
	・世界の学校について書かれたスピーチ原稿を読み、内容を理解することができる。 ・英作文をすることを意識し、自分の表現できる範囲で情報を抜き出す。	2 ③ 本時	・教科書 Challenge を読み、Check の問題を解く。 ・問題の答えとなる部分にアンダーラインを引きながら、答えを確認する。 ・英語で旅行記事を書くという本単元の目標を確認する。 ・図書資料から旅行記事を書く国を決める。 ・辞書を適用し、該当の日本語表現を英語に訳すことができる。	○	○		○	・世界の中学生の学校生活についてのスピーチ原稿を読み、その内容を理解することができる。 (ワークシート) ・英作文をすることを念頭に置き、情報をキーワードで抜き出すことに留意している。(図書資料活用) ・辞書を適用し、該当の日本語表現を英語に訳すことができる。 (ワークシート)	
2	・キーワードとして情報を抜き出し、適する英語表現に訳す。	4	・辞書を適用し、該当の日本語表現を英語に訳すことができる。	○	○			・英作文をすることを念頭に置き、辞書を適用し、該当の日本語表現を英語に訳すことができる。 (ワークシート)	
	・既習の文法事項を正確に、最適に用いる。	5 6	・既習の文法事項を用いて旅行記事の下書きを書く。				○	○	・既習の文法事項を正確に用いることができる。 ・自分が伝えたい内容を表現するために、既習の文法事項の中から最適なものを選択できている。 (ワークシート)

3	・読み手を意識しながら興味を引く書き方を工夫する。	7	・ブログ形式に旅行記事を書く。	○	○		・読み手を意識して、相手に伝わりやすく、興味を引きやすい工夫がされている。 (観察・ワークシート)
4	・友達の作品を読み、内容を理解する。 ・良い点や感想などをコメントする。	8	・友達の作品を読み、内容を理解する。 ・コメントシートやイイねシールを用いてリアクションする。		○	○	・友達の作品を読み、内容を理解して、良い点や感想などをコメントできる。 (コメントシート)

8 本時の学習 (第3/8時)

(1) 目標

- ・旅行記事を書く国について、図書資料からキーワードとして情報を抜き出し英語にすることができる。

(表現の能力)

(2) 資料

るるぶ・地球の歩き方 などの旅行雑誌

(3) 展開

主な学習活動と予想される生徒の反応	教師の活動・支援 (●: 司書教諭 ☆: 図書館司書) ◇評価
1. ウォーミングアップ 《帯活動》 ・プチ会話 2. 本単元のめあてを確認し、見通しを持つ。 3. 本時のめあてを確認する。 ・旅行記事を書く国を決定し、黒板の国名の下に自分の名前マグネットを貼る。 ・選択した国についての情報を収集する。	○プチ会話の表現例を、本単元 6 時間目のコメントシートに用いることができるものに設定する。 ○電子黒板を用いて全6時間の流れを説明する。 最終ゴールとして英語で旅行記事を書き、学級内でシェア活動を行うことを伝える。完成形を見せることでイメージを持たせる。 ○本時の流れを明確に示す。 ○時間配分に気を配れるよう、到達目標と時間を明確に指示する。 ●ワークシートの使い方、図書での検索の仕方を説明する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 旅行記事を書くための情報を抜き出し、辞書を使って英語の表現にしてみよう！ </div>	

<p>4. 図書資料を見ながら旅行記事を書く国を決定し、図書資料から情報を抜き出す。 抜き出した情報を英語の表現に変換していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈国を決定する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 図書資料に興味を持ち、すぐに決定できる • 図書資料に興味を持ってない • 1つの国に絞り切れない • 図書資料を読み込んでしまい決定までたどり着かない • 図書資料の共有がうまくできない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈情報を抜き出す〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 図書資料を読み込んでしまい情報を抜き出せない • 英作文を意識してキーワードで抜き出すことができる • ワークシートの使い方が理解できない • 図書資料に興味を持ってない • 図書資料の共有がうまくできない </div>	<p>☆図書資料の側に待機し、生徒の資料選択について助言をする。</p> <p>○●困っている生徒の周りにいる、理解できている生徒を把握し、周りの生徒にシェアするなど生徒どうしをつなげる声かけを行う。</p> <p>○●資料中のどの情報に興味を持ったのか確認しながら、選択肢を絞れるように声をかける。</p> <p>○●うまくワークシートを用いている生徒を見つけ、ワークシートの使い方を説明する。</p> <p>○英作文をする際にどのような表現にするのか意識させる声かけを行う。</p> <p>◇英語に訳すことを念頭に置き、情報の抜き出し方を工夫している。(図書資料活用)</p> <p>◇辞書を用いる際に、検索する言葉を工夫したり、自分の知っている表現に換えたりしながら、適する英語の表現に訳している。(表現の能力)</p> <p>○目標個数まで情報を集め、英語に変換できている生徒のワークシートをクラス全体に共有しする。</p>
--	--

(4) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とするときされる生徒への指導の手だて
表現の能力	抜き出した情報を、辞書を適用して同等の意味になるよう英語で表現している。	適した英語の表現を見つけれないものもあるが、抜き出した情報を、辞書を用いて英語に訳している。 (抜き出した情報そのままではなく、同等の意の別の語で検索するよう指導する。)	辞書の使い方をはじめ、どのように語を調べたらよいか分からない生徒には、いくつか例として調べて見せたり、周囲の生徒の調べる様子を一緒に観察・解説したりする。

(5) 学校図書館活用の視点

- 旅行記事を書く国について英文を書くために、積極的に情報を抜き出しているか。